

研究題名	せん妄予防の視点から TQM 活動を通し作成した大腿骨近位部骨折パス
研究機関名	武蔵野赤十字病院 R-6 病棟
研究責任者	武蔵野赤十字病院 R-6 病棟 看護師 高原 次子
研究期間	臨床研究倫理審査委員会承認後～2023 年 6 月
研究の意義・目的	せん妄になると認知症が悪化するリスクが高くなり、生命予後に影響を及ぼすことが報告されています。そこで、全てのスタッフが効率的で統一性のある予防的介入を実施することを目的とし、多職種で TQM 活動を行いパスを作成しました。結果せん妄発症率が低下し 2023 年 3 月パス改訂に至ったので学会報告させていただきます。
研究の方法 (対象期間含む)	2022 年 7 月～9 月の 3 ヶ月間、R6 病棟に入院された大腿骨近位部骨折患者の年齢、緊急入院または予定入院、せん妄、認知症、意識障害の有無を調査しました。改訂したパスを使用した結果の身体抑制実施の有無、周術期の鎮痛注射薬未使用件数、頓用鎮痛注射薬の使用件数の記述統計を行い分析しました。
① 情報の利用目的及び利用方法(匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法を含む)	①個人情報の保護のため、得られたデータは匿名で処理し、研究参加者が特定できるような表記は行いません。また収集したデータは厳重に管理いたします。本研究で得た情報は本研究以外では利用いたしません。
② 利用し、又は提供する情報の項目	②大腿骨近位部骨折患者の年齢、緊急入院または予定入院、せん妄、認知症、意識障害の有無を調査し、改訂したパスを使用した結果身体抑制実施の有無、周術期の鎮痛注射薬未使用件数、頓用鎮痛注射薬の使用件数
③ 利用する者の範囲	③R-6 病棟 看護師 高原 次子 R-6 病棟 看護師 鬼澤 直人
④ 情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	R-6 病棟 看護師 末永 裕代 整形外科 浅沼 雄貴 整形外科 小久保 吉恭
	④R-6 病棟 看護師 高原 次子
問い合わせ先	当研究に自分の情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町 1-26-1 武蔵野赤十字病院 R-6 病棟 氏名 高原 次子 TEL 0422-32-3111 内線 6600